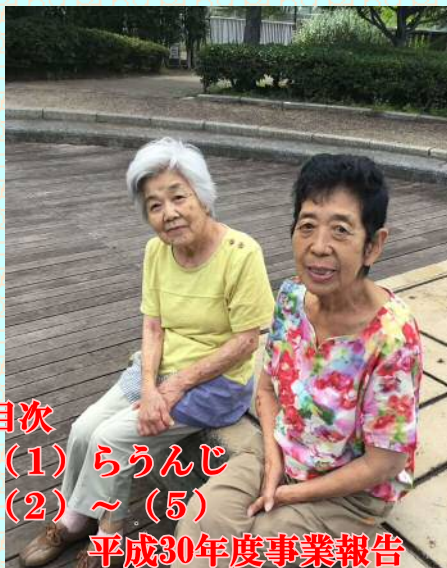




一人ひとりの夢・思いを大切に しなぶくニュース

編集人 しなぶくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮 5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinabuku.com> E-mail info@shinabuku.org

中延在宅サービスセンターで、
素敵な出会いがありました！
(初夏、東品川海上公園での
午後のひととき)



- 目次**
 (1) らうんじ
 (2) ~ (5)
 平成30年度事業報告
 (6) 寄付者一覧・貸借対照書
 (7) 事業活動計算書
 (8) 豆知識・会館祭り案内・
 子どものつどい・しなぶくの窓

らうんじ

五月一日より元号が令和に変わり、新しい時代の幕が開けました。福祉の世界は対人援助サービスとしての本質は普遍的なものです、時代の変化に応じて適切な対応が求められます。

近年、厚生労働省より「地域共生社会」の実現に向けた提案がなされています。「地域共生社会」とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超える連携が重要です。住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会を目指すものです。

当法人でもこうした考え方に則り、高齢者施設である中延在宅サービスセンターで障害のある方を受け入れることができる「共生型生活介護」という新しいサービスの申請をおこない、四月一日付で東京都の指定を頂きました。

全国的にもまだ取り組みの少ない事業ですが、当法人の理念の一つであるチャレンジの精神を忘れずに実践を積み重ね、品川区の福祉を、ひいては日本の福祉をリードする法人でありたいと考えています。

中延在宅介護支援センター・在宅サービスセンター施設長 蛸原宗一郎

平成三十年度 事業報告

品川総合福祉センター

平成三十年度も法人全体で各事業とも利用者ニーズに応えるべく福祉サービスの質を高め、諸課題の解決を進めてきました。

品川総合福祉センター未来創造図五年目の中間検証を行い、三重点課題（人権尊重、人材育成、収支改善）を整理、その改善に向けた中期経営計画（平成三十一年度から三か年）を策定、法人全体で課題解決に向けた取り組みを進めます。

品川区立心身障害者福祉会館の指定管理更新に向け、法人全体で同館の事業の改革に取り組む姿勢を前面に事業提案を行い、指定管理更新、事業を継続することができました。

八潮南特別養護老人ホームについては経営課題の検討を継続し、品川区から経営コンサルタントが派遣され、収支改善、職員教育に対しての支援を得ることができました。

人事課題の解決に向けて人事給与と制度検討委員会での答申により資格手当の創設、資格取得支援の拡充、さらに、人事考課制度を改定、実態に合わせ変更しました。

かえで荘

サービスの質の向上の一環として取り組んだ「ポジショニング技術研修」は、目から鱗という感想を持つ職員が多く、介護は科学であること、そして知る面白さを体感出来た一年になったと思います。

この一つひとつの積み重ねが利用者の生活の質をあげ、職員の喜びとなっていくのではないかと感じました。

感染症に関しては、インフルエンザ、感染性胃腸炎の発生が本部施設内であり、短期間で拡大したことを受け、施設だけの課題と捉えず、施設間の協力と連携、対策強化の必要性を感じました。

中延特別養護老人ホーム

ケアの質を向上させるため、

毎年テーマを決め取り組んでいます。個別対応を意識した入浴スタイルに変更し四年が経過する三十年度は、『入浴の時間』について取り組みました。高齢者施設では入浴は日中に行うことが多いのですが、「寝る前にお風呂に入りたい」と言う利用者の言葉から、夜間の入浴を導入することにしました。手探りの状態での試行でしたが、職員間で意見交換しながら定着させることができました。家での当たり前の生活に、また一歩近づくことが出来ました。

八潮南特別養護老人ホーム

職員の人員確保が難しい中、利用者一人ひとりの安心安全を優先する生活と、利用者自身が生活に楽しみを感じられる支援を実践しました。しかし、職員の利用者に対する不適切な言動や身体拘束廃止に対する取り組みが不十分という事があり、改善



お茶会で地方銘菓いただきました

に向けて、施設全体で取り組みました。感染症については、二月にインフルエンザが多く発症しましたが、管理医の協力と環境整備、消毒等の強化で、二フロアでの感染で終息することができました。

八潮南グループホーム

入居者の生活する姿を描き、買い物から食事作り、洗い物までの流れを分担し、本人の力が発揮できる機会を作り支援しました。



お弁当を作ったり近隣公園で楽しみました。また、加齢とともに

に医療面でのケアが必要な入居者が増えたため、訪問看護の定期的な訪問を開始しました。

感染症では、インフルエンザが一つのユニットで蔓延しましたが、衛生管理面の対応を強化した結果、もう一つのユニットに感染することなく終息しました。

八潮在宅サ―ビスセンター

引き続き日々のサ―ビス向上に努め、特に十五時以降のプログラムについて、いかに利用者が楽しめるプログラムを実施できるかを検討・実践しました。

介護報酬の改定に伴い、定員を平日三十名から三十五名に増員しました。

また、新規利用や増回、変則的な利用希望等にもできるだけ添うようにし、ケアマネ―ジャーとの連携にも努めてきました。

八潮在宅介護支援センター

定例の地区ケア会議の中で多職種による事例検討を重ね、地域が抱える課題について考えてきました。

認知症サポ―ター養成講座は地域住民や団体からの要請で実施し、養成講座修了者を対象に「認知症サポ―ターレベルアップ事業」も実施し好評でした。

「図書館カフェ」など地域で行われている「認知症カフェ」

でミニ講座を行うなど、地域と共に取り組んできました。

大井在宅サ―ビスセンター

「デイサ―ビスは朝が早くて困る、午後からでは昼ご飯が出ないから行かない」という方のために、「寝坊の出来るデイサ―ビス」として好評を得ており、お迎えに上がる車の時間の調整をさせていただくなど、利用されるご本人の生活リズムにあつたサ―ビスを提供しています。

その他、充実した趣味活動からお好きなものを選ぶことが出来るよう努力しました。



玄関前の植栽をお手入れ

大井在宅介護支援センター 大井第二在宅介護支援センター

大井三丁目高齢者憩いの場を活用して、管理栄養士による講座や介護予防のための学習会を企画し、体操教室へのお誘い、認知症になられても安心して生活できる地域づくりのための「認知症カフェ」を実施しました。

認知症サポ―ター養成講座そして、もっと深く学びたいと言われる方々のため、認知症サポ―ターレベルアップ講座の企画運営をいたしました。

中延在宅サ―ビスセンター

利用者に安全・快適に入浴して頂けるよう、機械式の入浴設備を約二十年ぶりに新しく購入しました。

また、利用者からのご要望を伺う機会を増やすために、職員の発案でデイルーム内に「ご意見箱」と掲示板を設置しました。頂いたご意見は全職員で確認し、すべてに回答を掲載しています。

外出のご希望や職員の介助

方法について等、三十年代は十件のご意見をいただきました。



楽しくリハビリしています

中延在宅介護支援センター

前年度から引き続き、事業所一階ロビーで、毎月第三木曜日に、「コミュニティカフェ」「喫茶せせらぎ」を運営しました。

当法人のプチレーブのパン販売が定着し、最近が高齢者や特養利用者のご家族だけでなく、ベビーカーを押した親子連れの方々の憩いの場にもなっています。

これからも、地域特性を活かし、親しみやすい支援センターを目指して力を尽くします。

さつき

軽作業、クリーニング作業、売店、喫茶の作業を実施しました。利用者の皆様にも一生懸命仕事をして頂き、安定した仕事の提供や、工賃の向上にも取り組みました。

一方作業の後のサロン・カラオケも好評で沢山の方々に参加頂きました。来年度も作業、余暇両方の充実をしていきます。

また、引き続き幅広い障害者の受け入れを行う事を



2月調理活動にて

さつきの特色とし、今後も高齢化が進む中、出来るだけ多くの皆様が安心して通所して頂く事ができるような環境作りをして行きたいと思っております。

かもめ園（知的）

健康面、活動面において利用者に合った三つのフロアで支援を行なっています。リハビリや散歩などのほか、皆様

の好きなにぎやかな曲に合わせて体操などを行ない、体力づくりにも力を入れました。

しかし年度後半には体調を崩す方が多く、インフルエンザA型に二十九名が罹患しました。高齢の方も多いため、早期に通院して重症化しないよう努めました。

また、東京都福祉サービス第三者評価により、利用者調査、ご家族アンケートを実施し、サービスの向上に努めました。

かもめ園（身体）

平成三十年度は、利用者の健康管理等を目的として三階フロアー全体に蒸気式加湿器を設置しました。その結果、インフルエンザの罹患者が0名となり、健康維持の促進が行えました。

しかし、三月末には胃腸炎症状の利用者が発生しましたが、短期間で終息することが出来ました。今後の更なる対応力の向上が課題となりました。

また、新規通所者の受け入れを実施し、順調な通所に繋がっています。短期入所も利用のご要望が多く、柔軟な対応を推進しました。他区からの利用に関してもニーズに答えました。

サンかもめ

日中活動、グループ外出（東京タワー・萩中プール）

レクリエーション等様々な活動を通じて利用者が自己実現を果たせ、充実した時間をすごせるよう支援を実施しました。また、アールブリュット活動では紅葉フェスタのステージ幕を作成する等、発表の場を作りました。

開設十七年目を迎え利用者の高齢化や障害の重度化が課題となっています。

利用者に寄り添える支援をめざ



紅葉フェスタの
ステージ幕作成中

し日課の見直し・プログラムの検証等を進めます。

また、支援の専門性向上をめざし、外部講師派遣研修を受けました。

福祉工場しながわ

年度途中に一名が別の事業所に移り、従業員が三十八名となりました。



10月従業員旅行にて
みかん狩り体験！！

清掃事業では引き続き品川区内の公園や児童センター、一般企業等の建物清掃を行いました。

製パン事業は企業への販売と保育園一園が新規に始まりました。

製陶事業は安定した受注、生産を保っています。その他納涼会、旅行、忘年会に多くの従業員が参加し、日々の業務を労うなど交流を図りました。

なぎさの家

世話人の入れ替えがありました。が混乱もなく、安定した生活支援を進める事が出来ました。ご家族、利用者の高齢・



4月のお花見へ

重度化が進み帰宅が難しくなる中、日々の健康管理や通院付き添いの必要性が高まっています。

また、週末や休日の過ごし方についても支援の必要性が高く、外出や行事参加でのコミュニケーション、話題の提供により社会性が保たれる役割が重要と考え支援に努めています。

地域交流の一環として大規模避難訓練への参加や町会の方々とのバーベキューを実施しました。

心身障害者福祉会館

昨年度、プロポーザルで選定され、引き続き指定管理で事業運営を進めていくこととなりました。

自立訓練事業では、関係機関との連携を拡充することを利用者の増加に繋げることができました。

生活介護事業では、個々に合わせたサービスをを行う中で生産活動のプログラムを強化しました。

また、地域活動支援センターでは、支援者養成事業を積極的に進める等、当事者以外への事業提供に力を入れました。

障害者支援センターでは関係機関との連携を重要事項として事業を進めました。今後新たな事業に取り組み進化していききたいと思えます。

八潮中央保育園

年間を通して定員を満たした状態で運営することができました。子どもたちの心身共に豊かな発達を促すために、恵まれた自然環境の中で体を



園庭でお花見！
楽しいよ！

動かす活動や様々な人との交流を目的とした活動を行ってききました。

また、子どもの事故や怪我の予防、安全面の向上を目指して「ヒヤリハット」をテーマにサービス向上委員会を取り組み、内部研修を実施しました。健康面では、溶連菌やインフルエンザが流行したため、保護者に協力を要請しながら感染拡大防止に努めました。

大井三丁目高齢者憩いの場

高齢者を中心に、多世代交流を進める地域の福祉拠点づくりを目指し事業を展開しました。

平成二十九年十月から開始した地域ミニデイもボランティア等の活動を盛り込み、創作活動、機能訓練を実施しました。

月二回土曜日に行われている「ひなたぼっこ」では、新しい企画としてガラスのトンぼ玉、七宝焼き、ハーバリウム、おやつ作りでは毎回定員

をオーバーするなど好評を得ました。

縁側カフェは、マッサージ師による「リラックス&リフレッシュ」を実施し、お茶を飲みながら和やかな時間を過ごすことができました。

地域福祉課

平成三十年度は、地域福祉力向上を目指し、地域交流活動・福祉教育活動・広報活動の実施に努めました。

法人の理念である「地域とともに」を実践すべく、地域交流事業の見直しを行い「しなふく紅葉フェスタ」を開催しました。ステージでは参加型のゲームを行い、施設利用者、地域住民がともに楽しみ相互理解を深めることが出来ました。また、各種地域行事への参加や「こどものつどい」を企業ボランティア、青少年ボランティアしながら役割立ち隊の協力で実施し好評を博しました。



デコレーション
ケーキ、大成功！

平成30年度のご寄付

皆様から、ご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

石澤 裕子	勝野 巽	田中 勝	古川 繁子	山田 繁子
井上 ゆみ子	塩原 宏	西島 信夫	水野谷 育男	
内田 恵美子	島崎 妙子	野村 禎一	宮地 恵美子	
大塚 好雄	菅澤 政夫	樺澤 陽子	矢部 正美	
小俣 克文	鈴木 敏夫	日比 ミリ子	山口 睦子	

団体

イトーヨーカドー労働組合 大井町支部	コーシャハイム八潮西自治会	(社福)福栄会	都営中延6丁目 アパート自治会	八潮地区防災協議会
魚栄	品川区視覚障害者 福祉協議会	勝健館須藤道場	中六さくら会	八潮地区民生委員協議会
荏原町町会	品川区重症心身 障害児者を守る会	青少年対策 八潮地区委員会	西中三親友会	八潮中央保育園父母の会
(株)品川都市整備公社	品川区手をつなぐ育成会	地域生花サークル同	八潮学園	八潮2号棟自治会
かもめ園家族会(身体)	(社福)さくら会	ディ・エス・スタッフ(株) 代表取締役 入澤理沙	八潮50号棟自治会	八潮4号棟自治会
かもめ園家族会(知的)	(社福)品川区 社会福祉協議会	東京善意銀行	八潮58・59号棟自治会	八潮60号棟自治会
公益信託西村良枝記念 知的障害者福祉基金	(社福)春光福祉会	東京都荏原 歯科医師会	八潮自治会連合会	八潮わかば幼稚園

貸借対照表

平成31年 03月 31日 現在

平成30年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減	勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	1,229,559,950	1,277,163,920	-47,603,970	流動負債	302,398,370	298,044,511	4,353,859
現金預金	827,905,368	879,642,231	-51,736,863	事業未払金	144,054,975	148,246,882	-4,191,907
事業未収金	391,082,953	388,795,305	2,287,648	1年以内返済予定設備資金借入金	10,010,000	10,010,000	
商品・製品	2,010,726	1,852,131	158,595	預り金	24,742,321	21,899,510	2,842,811
原材料	2,255,051	1,442,427	812,624	職員預り金	29,248,074	27,756,119	1,491,955
立替金	455,739	618,798	-163,059	賞与引当金	94,343,000	90,132,000	4,211,000
前払金	1,241,520	1,329,084	-87,564	固定負債	295,304,332	293,840,662	1,463,670
前払費用	130,693	336,044	-205,351	設備資金借入金	108,440,000	118,450,000	-10,010,000
仮払金	8,263,900	6,934,900	1,329,000	退職給付引当金	186,864,332	175,390,662	11,473,670
徴収不能引当金	-3,786,000	-3,787,000	1,000	負債の部合計	597,702,702	591,885,173	5,817,529
固定資産	1,767,529,110	1,852,639,703	-85,110,593	純 資 産 の 部			
(基本財産)	947,375,368	1,030,299,244	-82,923,876	基本金	1,000,000	1,000,000	
建物	946,375,368	1,029,299,244	-82,923,876	国庫補助金等特別積立金	612,652,901	666,549,098	-53,896,197
定期預金	1,000,000	1,000,000		その他の積立金	526,728,260	529,103,615	-2,375,355
(その他の固定資産)	820,153,742	822,340,459	-2,186,717	人件費積立金	22,000,000	32,000,000	-10,000,000
建物	3,659,402	4,069,801	-410,399	修繕積立金	15,000,000	15,000,000	
車輛運搬具	18,480,795	10,876,510	7,604,285	備品等購入積立金	9,520,000	9,520,000	
器具及び備品	78,051,338	91,809,221	-13,757,883	工賃変動積立金	600,000	600,000	
ソフトウェア	5,867,625	9,875,862	-4,008,237	設備等整備積立金	4,620,000	6,500,000	-1,880,000
投資有価証券	229,361,990	230,014,095	-652,105	設備更新積立金	245,988,260	236,483,615	9,504,645
退職給付引当資産	186,864,332	175,390,662	11,473,670	施設運営費積立金	229,000,000	229,000,000	
人件費積立資産	22,000,000	32,000,000	-10,000,000				
修繕積立資産	15,000,000	15,000,000					
備品等購入積立資産	9,520,000	9,520,000		次期繰越活動増減差額	1,259,005,197	1,341,265,737	-82,260,540
工賃変動積立資産	600,000	600,000		(うち当期活動増減差額)	-84,635,895	-67,490,183	-17,145,712
設備等整備積資産	4,620,000	6,500,000	-1,880,000	純資産の部合計	2,399,386,358	2,537,918,450	-138,532,092
設備更新積立資産	245,988,260	236,483,615	9,504,645				
差入保証金	90,000	70,000	20,000				
長期前払費用		130,693	-130,693				
その他の固定資産	50,000		50,000				
資産の部合計	2,997,089,060	3,129,803,623	-132,714,563	負債及び純資産の部合計	2,997,089,060	3,129,803,623	-132,714,563

事業活動計算書

(自) 平成30年 04月 01日 (至) 平成31年 03月 31日

平成30年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位:円)

勘 定 科 目			本年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,795,945,146	1,798,432,258	-2,487,112
		保育事業収益	205,456,920	201,039,120	4,417,800
		就労支援事業収益	134,982,657	135,282,689	-300,032
		障害福祉サービス等事業収益	1,142,967,016	1,086,254,766	56,712,250
		公益事業収益	35,286,434	40,395,463	-5,109,029
		経常経費寄附金収益	2,609,321	1,747,467	861,854
		その他の収益	1,393,328	2,203,152	-809,824
		サービス活動収益計(1)	3,318,640,822	3,265,354,915	53,285,907
	費用	人件費	2,240,948,924	2,186,019,360	54,929,564
		事業費	388,123,818	377,817,811	10,306,007
事務費		567,372,787	553,262,912	14,109,875	
就労支援事業費用		182,566,422	189,690,419	-7,123,997	
利用者負担軽減額		103,939	69,921	34,018	
減価償却費		125,345,581	128,327,328	-2,981,747	
国庫補助金等特別積立金取崩額		-63,961,097	-63,227,379	-733,718	
徴収不能引当金繰入		535,000	1,691,000	-1,156,000	
サービス活動費用計(2)		3,441,035,374	3,373,651,372	67,384,002	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-122,394,552	-108,296,457	-14,098,095	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	347,234	437,129	-89,895
		その他のサービス活動外収益	41,946,836	42,995,314	-1,048,478
		サービス活動外収益計(4)	42,294,070	43,432,443	-1,138,373
	費用	投資有価証券評価損	652,105	652,105	
		投資有価証券売却損		40,000	-40,000
		その他のサービス活動外費用	2,040,160	2,233,050	-192,890
		サービス活動外費用計(5)	2,692,265	2,925,155	-232,890
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		39,601,805	40,507,288	-905,483	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-82,792,747	-67,789,169	-15,003,578	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	9,400,000	15,961,304	-6,561,304
		固定資産受贈額		150,000	-150,000
		その他の特別収益	536,000	148,997	387,003
		特別収益計(8)	9,936,000	16,260,301	-6,324,301
	費用	固定資産売却損・処分損	767,248	11	767,237
		国庫補助金等特別積立金積立額	10,064,900	15,961,304	-5,896,404
		その他の特別損失	947,000		947,000
		特別費用計(9)	11,779,148	15,961,315	-4,182,167
特別増減差額(10)=(8)-(9)		-1,843,148	298,986	-2,142,134	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-84,635,895	-67,490,183	-17,145,712	
増減繰越額の活動部	前期繰越活動増減差額(12)		1,341,265,737	1,490,881,500	-149,615,763
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		1,256,629,842	1,423,391,317	-166,761,475
	基本金取崩額(14)			229,000,000	-229,000,000
	その他の積立金取崩額(15)		19,516,000		19,516,000
	その他の積立金積立額(16)		17,140,645	311,125,580	-293,984,935
	次期繰越活動増減差額(17)=(13+14+15-16)		1,259,005,197	1,341,265,737	-82,260,540

とろてん

夏の暑い日に冷やしたとろてんは涼も得られます。

ところてんの歴史は古く、中国から伝わり、すでに平安時代には食べられていました。が、高貴な食べ物で、一般庶民に広まったのは江戸時代からだそうです。

下手の横好きで、義太夫に凝っている豊竹屋節右衛門（とよたけやふしえもん）という男。なんでも見聞きしたものをすぐ節をつけて、でたらめの義太夫にしてしまうので、かみさんはいつも迷惑しています。

この「豊竹屋節右衛門」と呼ばれる落語にこのような下りがあります。「夏の売り物、そばに似れどもそばでない、うどんに似れどもうどんでない、酢をかけ蜜かけ食べるの

豆知識

は」。トコロテン、カンテン。「心太」、「心天」と漢字で書くところてん。七月、八月の風物詩です。テングサやオゴノリなどをゆでた後、煮溶かして発生した寒天質を冷ましてから固めます。

スーパーマーケットに行くと、パック詰めで陳列棚に並んでいます。市場に行く、とん突きで麺（めん）状に突き出して売ってくれます。

食べ方は様々。酢醤油、からし醤油、あるいは糖蜜などでいただくこともあるようです。全体の九割以上が水分で、腸内で殆ど消化されない為、栄養価はあまりないですが、口当たりがよく、食物繊維が豊富で整腸効果もあるとか。

令和の夏にはエコな食べ物なのかも知れません。



会館まつり案内

「広げよう福祉の輪と地域の絆」をメインテーマに品川区立心身障害者福祉会館まつりを開催します。

日時…令和元年七月七日（日）

十一時～十五時

会場…品川区立心身障害者福祉会館（品川区旗の台五―二―二）東急大井町線・池上線「旗の台駅」徒歩三分

内容…模擬店、各種販売、アトラクション、スタンプリー等

※小学生以下のお子様へプレゼントをご用意しています。

子どものつどい

毎年恒例、大人気の「こどものつどい」。数種類の工作のほか、わくわくどきどきする面白い遊びをご用意して、お待ちしております。綿あめやポップコーン、アイスなどのお楽しみもあります。

日時…令和元年七月二十七日（土）午前十時～十二時

場所…品川総合福祉センター一階（八潮五の一）

対象…小学生・幼児・施設の利用者 先着二十名

参加費…無料

申込み…お電話ください。

〇三―三七九〇―四八三九

しなぶくの窓

品川総合福祉センターの敷地内に、大きなびわの木が一本あります。

このびわの木は、かえで荘の利用者が「あたしが食べた『びわ』の種を植えたら出てきたのよ」と。本当なのかと眼を疑うほど沢山のびわが、たわわに実ります。毎年かえで荘の皆さんと一緒にびわ取りをしています。採りたてのびわは最高に美味しいです。大地の恵みと種を植えてくれた利用者に感謝です。



今年のびわも豊作です